



志木三小だより

学校運営協議会スローガン「ともに愛そう わがまち わが学校」

志木市立志木第三小学校

令和4年9月30日

志木市柏町3丁目2番1号

TEL 048-471-1062

「育児」は「育自」

～「子供を育てる」ではなく「子供とともに親が育つ」～

校長 関根 久美子

少し前の出来事です。私が、道を歩いていると、どこからともなく、子供が歌う声が聞こえてきました。小さな子のたどたどしい歌声です。何か童謡を歌っているようです。私があたりを見回すと、3歳くらいの男の子がお母さんに手を引かれて、歩いてきました。「ああ、この子が歌っていたのね。きっと、お母さんが一緒に歌っているのを、真似して歌っているのね。」と思いました。お母さんと子供が、だんだんと私のほうに近づいてきました。その親子の様子を見て私は、少し「違和感」を感じました。お母さんは、歌って（口ずさんで）いなかったからです。男の子に目をやると、男の子はスマートフォンを耳に当て、そこから流れてくる童謡に合わせて歌っていたのです。お母さんは無表情で、男の子の手を引いて歩いていきました。

また、ある時、ベビーカーを押して電車に乗ってきたお母さんは、赤ちゃんがぐずると、ベビーカーを揺らして、あやしていました。けれども手に握られたスマートフォンから目を離すことはありませんでした。

あるイベントでは、子供たちが舞台の上で一生懸命発表をしていました。子供たちの発表は、とても素晴らしいもので、私は思わず「拍手」をしました。もちろん、周りの多くの観客から、子供たちの頑張りに「大きな拍手」が起こるのかと思ったら、実際は、拍手はまばらでした。その理由は、客席のほとんどの人たちがカメラやスマートフォンで写真や動画をとることに夢中だったからです。手に持ったカメラをじっと見ていたので、拍手をすることができなかったのです。

私は、決してスマートフォンが「悪い」と言っているわけではありません。むしろ、新たな「ツール」として上手に活用していきたいと感じています。

子育てに「正解」はありません。「マニュアル」もありません。けれども私は、お母さん、お父さんが直接子供たちに話しかけることは「必要なこと」「大事なこと」だと思います。一緒に、歌を歌ったり、同じ本を読んで笑ったり、共通の話題で考えたり、一緒に汗を流したり、親子というよりも、人間同士のふれあいは子供の心の成長に欠かすことはできません。

お子さんと共に過ごし、成長を感じることができる時間には限りがあります。お子さんは、日々、成長していくのです。その時々、本当に大切な心の成長は、お母さん、お父さんが直接見て、心の中に刻んでください。もちろん、お子さんの成長を、記録に残すことは大事なことです。けれども時には、お母さん、お父さんの目で、ファインダー越しの切り取られた風景の中にお子さんではなく、大きな現実の世界の中にお子さんの姿を見てください。そして、心のアルバムにしっかり「記憶」してください。じっと見つめるご家族の暖かい眼差しに子供たちは、勇気もらい、励みにし、頑張れるはず。そして、時には両手で「ぎゅっと」抱きしめたり、大きな拍手を送ったりしてください。手と手が触れ合う温かさ、目と目で見つめあう信頼感は、AIには任せられません。